

定住自立圏構想セミナーin新潟



中海圏域定住自立圏の取組



島根県松江市 勝部真史

平成22年9月8日

中海圏域の紹介

国際文化観光都市  
松江市

さかなと  
鬼太郎のまち  
境港市

山陰の商都  
米子市

古事記の舞台  
東出雲町

安来節とハガネのまち  
安来市



## 中海市長会の沿革

- 平成7年2月 中海圏域4市連絡協議会
- 平成19年7月 中海市長会へ改組
- 平成20年7月 中海市長会（東出雲町参加）



## 中海市長会設立の目的

- ・ 中海圏域の市町村の行政上の共通課題等について連絡調整を行い、圏域の総合的・一体的な発展の推進を図る。



## 中海市長会の特徴



- ・ 当初 「できることから実行していく」を合言葉に共同事業を行う。（市町）  
今後 「中海圏域振興ビジョン」の実現をめざす。（圏域）
- ・ 推進 会長（事務局）→幹事会→事務局（担当部会・担当課長会）  
市長・町長が年に4回直接意見を交わす
- ・ 任期等 会長・事務局3年任期、専任職員





## 中海圏域振興ビジョン



目的

中海圏域が一体的に発展していくための  
指針となる圏域の「将来像」を提案

### ・将来像を検討するときの視点

- ・圏域の魅力・優位性をアピールし、持続的な発展につないでいく。
- ・構成市町は、特徴・個性を生かした役割分担を行う。重複や錯綜しないよう留意する。
- ・一体的に取り組みないと実現できないもの、一体的に取り組むことに価値のあるものを精選する。

## 圏域発展を牽引する3つの方向性と それを支える基盤

- ・北東アジアから世界へつながる西日本のゲートウェイの構築
- ・中海をはじめとする豊かな自然と人がおりなす調和の実現
- ・自然・人材・技術の連携による世界に誇る中海ブランドの創出



・4市1町がつながり、あたかもひとつのように機能するまち



## 北東アジアから世界へつながる 西日本のゲートウェイの構築

なかうみで出会う

海路・空路により北東アジアとつながっている強みを活かし、西日本のゲートウェイとしての発展をめざす



## 中海をはじめとする豊かな自然 と人が織りなす調和の実現

なかうみを守る

ラムサール条約に登録された中海をはじめ、日本海、河川、森林など豊かな自然の保全とワイズユース、自然と調和した社会の構築



ラムサール条約登録



## 自然・人材・技術の連携による 世界に誇る中海ブランドの創出

なかうみで創る

4市1町の特徴ある産業集積と技術、自然や  
景観などの地域資源、個性あられる観光資源  
などを活かした産業振興



## 4市1町がつながり、あたかも ひとつのように機能するまち

なかうみをつなげる

圏域が一体として発展していくために必要な  
交通、物流、情報ネットワーク等の社会基盤  
の充実と一体感の醸成





## 中海圏域の将来像



出会いは なかうみ 動きだす 未来

人、物、情報が世界に向けて行きかい、  
産業や暮らしに活気がみなぎり、  
かけがえのない自然を未来へ継承する  
中海圏域の実現

相互に関連・好循環

なかうみで出会う

なかうみを守る

なかうみで創る

なかうみでつながる

## 定住自立圏のあゆみ

平成20年10月 定住自立圏先行実施団体へ選定

平成21年4月 松江市・米子市共同中心市宣言

平成21年10月 定住自立圏形成協定の調印

平成21年10月 定住自立圏全国市町村長サミット

平成22年3月 定住自立圏共生ビジョン策定



## 定住自立圏形成の仕組みと手順

### 定住自立圏構想推進要綱

- 1 中心市宣言  
県境型・複眼型
- 2 定住自立圏形成協定の締結  
中海市長会の4市1町
- 3 定住自立圏共生ビジョンの策定  
毎年更新



## 松江市・米子市「共同中心市宣言」

平成21年4月30日



松江市・米子市「共同中心市宣言」  
県境型・複眼型→中海市長会

圏域を構成するすべての自治体の連携強化を  
促し、**地域のさらなる発展と魅力向上**をめざし、  
中心市としての自覚に基づき、共同してこのマ  
ネジメントを担い、**活力ある圏域の形成を実現**  
していくことを宣言します。



## 中海圏域定住自立圏の形成協定

### 3分野22項目

既存の事業・新規事業

- ①生活機能の強化に係る政策分野部会
- ②結びつきやネットワークの強化に係る政策分野
- ③圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野



平成21年10月7日

中海圏域定住自立圏形成協定調印式

## 生活機能の強化に係る政策分野①

- ・保健医療を担う病院への支援
- ・体育文化施設利用による住民交流の促進
- ・学校給食に圏域内の特産食材の使用





### 生活機能の強化に係る政策分野①

- ・ 環日本海定期貨客船の安定就航に向けた支援
- ・ 圏域の観光振興
- ・ 「中海産業技術展」への支援
- ・ 環境保全の推進



### 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野②

- ・ 公共交通の利便性向上に向けた取組
- ・ コミュニティバスの運行
- ・ 中海の湖岸を周遊できる道路の検討
- ・ 中海架橋建設に向けた連携
- ・ 圏域情報の共有化





### 圏域マネジメント能力の強化に係る 政策分野③

- ・ 職員派遣及び合同職員研修
- ・ 外部から専門的な人材を共同で招へい



### 中海圏域定住自立圏共生ビジョン

- ☆アンケート・ヒアリングの実施
- ☆パブリックコメントの実施
- ☆共生ビジョン懇談会の実施  
松江市・米子市で開催
- ☆中海市長会シンポジウムの開催



中海圏域定住自立圏共生ビジョンの策定





## 中海市長会今年度の事業①

北東アジアゲートウェイの構築に向けて

- ☆ロシアビジネスサポート人材配置
- ☆ロシア・韓国紹介番組の制作
- ☆米子空港発着の国際チャーター便利用促進
- ☆海外商談会への助成
- ☆環日本海定期貨客船への支援



## 中海市長会今年度の事業②

観光振興・情報発信

- ☆インバウンド対策
- ☆観光二次交通の企画
- ☆圏域PRビデオの製作
- ☆山陰たんのう店における情報発信
- ☆ノベルティグッズによるPR
- ☆圏域広報のフリーペーパーの発行





## 中海市長会今年度の事業③

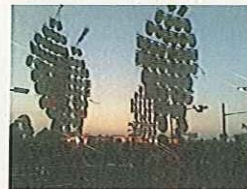
一体感の醸成に向けて

☆祭りの交流

☆中海圏域のイベント助成

☆中海自然体験事業

☆圏域の特産食材を使った学校給食



定住自立圏構想セミナーin新潟



## 中海圏域定住自立圏の取組

# だんだん

島根県松江市 勝部真史

平成22年9月8日